



CHARTERED SEPT. 11. 1953

## Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO YAMATE

YAMATE YMCA, 2-18-12, NISHIWASEDA, SHINJUKU-KU, TOKYO TEL. 03-3202-0321 FAX.03-3202-0329

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-18-12 山手YMCA内

2017 - 18 会長主題

### 共に行動 共に喜びを

あずさ部長	大野貞次 (東京西)	「継続は力なり・一歩でも前に・そしてあがこう」
東日本区理事	栗本治郎 (熱海)	「広げよう ワイズの仲間」
アジア地域会長	Tung Ming Hsiao (台湾)	“ Respect Y's Movement ” 「ワイズ運動を尊重しよう」
国際会長	Henry Grindheim (ノルウエー)	“ Let Us Walk in the Light—Together ” 「ともに、光の中を歩もう」

会長 上妻英夫 / 副会長 尾内昌吉 / 書記 浅羽俊一郎 / 会計 中村孝誠  
 直前会長 金本伸二郎 / ブリテン 功能文夫 / 担当主事 星住秀一

#### 2017年 9月 例会

<ユースの月>

とき 9月19日(火) 18:30-20:30  
 ところ 山手センター 101号室  
 受付 飯島愛子さん、功能さん  
 司会 尾内さん  
 開会点鐘 会長  
 モットー・ワイズソング 一同  
 聖句朗読・祈祷 司会者  
 ゲスト・ビジター紹介 会長  
 <会食> 一同  
 ハッピーバースデー  
 卓話「ワイズと私のYMCA」橋本晃一さん  
 (旧東京多摩クラブチャーターメンバー、  
 元中学校社会科教師、柔道6段)  
 ニコニコ 一同  
 報告・連絡事項 各担当  
 閉会点鐘 会長  
 当番(第1班) 功能、上妻、尾内、飯島(愛)

#### ワイズメンズクラブ モットー

『強い義務感をもとう  
 義務はすべての権利に伴う』  
 “ To acknowledge the duty  
 that accompanies every right ”

#### 今月の聖句

鉄は鉄をもって研磨する。  
 人はその友によって研磨される。

—箴言 27章 17節—

#### 9月 HAPPY BIRTHDAY

浅羽俊一郎さん 20日

会費の納入は、会計(中村君)への納入または  
 下記銀行口座への振込みをお願いします。  
 三菱東京UFJ銀行 高田馬場駅前支店  
 普通 3548431 「東京山手ワイズメンズクラブ」

#### 8月報告

会員在籍数		14名
例会出席者	メン	7名
	メネット	1名
ゲスト・ビジター		1名
会員出席率		50%
ニコニコ		1円(累計 7,754円)
B F	国内切手 -g	外国切手 -g

## 8月納涼例会 報告

8月23日(水) 18:30-21:00

美趣蘭(みしゅらん)

出席者: 上妻、飯野、尾内、尾内(規)、功能、  
中村、星住 7名  
ゲスト・ビジター

橋本晃一さん(旧東京多摩クラブチャーターメンバー)

杉田裕樹(ゆうき)さん(山手センター)

張津(ちょう しん)さん(山手センター)

3名

合計 10名

この日は暦の上では「処暑」朝晩、次第に冷気を覚えるころということらしいが、猛暑の一日であった。納涼例会は高田馬場の近く、神田川の橋のたもとにある居酒屋で開かれた。暑さの中をご出席いただいたゲストの橋本さんは上妻さんの旧東京多摩クラブ在籍時代からのご友人で、元中学校社会科教師、東京YMCA名誉会員、柔道は6段、87歳とは思えない元気いっぱいの方で私たちも元気を分けていただいた。

山手センターの杉田さんは2009年東京Y入職で、4月に東陽町センターから山手センターに所属が変わった。また、張さんは今年4月入職の新人、出身は中国の天津で、2年間日本語を勉強してから日本に留学し経営学を学んだとのことである。杉田さん、張さんのこれからの活躍を大いに期待したい。

当夜は特別のテーマはなく、乾杯の後は適宜にビール、日本酒、ウーロン茶と料理を楽しみながら、談笑した。橋本さんの柔道の話が面白かった。最近の柔道は怪我が多いスポーツになっている。もともと柔道は受け身が基本だったのに、国際柔道になってから、受身では勝てない、受身はとるなというように変わって、受身の稽古が欠けてきたことに原因がある、という話であった。尾内さんからはタイのチェンマイで開催されたアジア大会のパンフレットを見せていただいた。

80代、70代、60代のワイズメンの納涼会に招かれた山手センターの若い人たちにとっては、余りに歳の開きがあり過ぎて、話がかみ合わなかったのではないかと思う面もあったが、高齢ワイズにとっては、Yの若い人が良く来てくれた、ありがとう、という嬉しさがあったことも事実である。話が弾んで、30分予定より延長した。(F. K)

## ヨルダン会 報告

日時: 8月29日(水) 14:30~16:00

場所: 華屋与兵衛

出席: 上妻、中村、功能 3名

1、9月例会卓話者 8月納涼例会に出席された橋本晃一さんをお願いした。テーマは「ワイズと私のYMCA」

2、9月2日(土)大阪茨木クラブ25周年記念例会に上妻、尾内が出席する。山手クラブのDBCであり、お祝い金を贈呈する。

3、十勝ジャガイモの購入(9月10日締め切り)山手センターバザーの学舎カレー出店用に1箱、ラッフル券の賞品用に1箱を購入する。

4、第21回あずさ部部会

日時: 10月21日(土) 11:30-15:00

会場: 神楽坂、日本出版クラブ会館

会費: 6,000円

ホスト東京西。申込9月30日まで

山手は例会出欠はがきで参加者を確認する。

5、9月3日(日)「しんじゅく防災フェスタ」戸山公園で開催、山手センターが子供向けの防災プログラムを担当する。中村が参加。

6、国際協力街頭募金 9月16日(土) 13-17時 JR新宿駅周辺で実施。ボランティア参加者募集中。

7、チャリティーラン 9月23日(土・祝)

木場公園内特設コース

例年通り1チーム分10万円を山手、西、サンライズ、タンポポ4クラブで分担協力する。

8、その他、今後の山手クラブの会員増強について、会費について、会の特色あるプログラムができないか、などを話しあった。



<会員消息> 福村佐和子さん 東京女子医大に8月22日に入院、乳がんの手術を受けられ、26日に無事退院されました。福村さんの健康が守られますように。



クラクフのユダヤ人街で昼食、日差しを避けて  
室内で食事。私たち以外は誰もが屋外で。

## ジュネーブだより

浅羽俊一郎

年度早々ひと月半ジュネーブに来ています。今回は前半は妻同伴でまずはアパート掃除。分かりやすいのでジュネーブと言っていますが、正確には国境沿いのフェルネ・ヴォルテールというフランスの村です。かつてヴォルテールが居を構えたシャトーは観光スポットで、その管理を今後は地元で代わってフランス政府が見るそうです。我がアパートからレマン湖まで徒歩でも1時間弱。私は今回2回暑い中歩いて湖を渡りました。

こちらに来ると毎毎月一回の昼食会をする3人の邦人男性仲間がいますが、様々な話題を共有しています。不思議なのは彼らがインターネットやNHKで国内の情報にやたらと詳しいこと。もう一人は数年前にワイズで知り合った80代半ばのチェリスト。先日電話してきて「今の日本の政治についてどうしても言いたいことがあるから会いに来てくれ」と。長年離れていても忘れがたきは故郷ということでしょうか。私のように幼児から今まで通算30回以上も住まいを変えてきた者にはそもそも故郷が分からない。

今回来寿して（ジュネーブに来て）二つ感じました。まずは「暑い！」ということ。今後はエアコンが必要になるでしょう。私たち夫妻は物置から扇風機を取り出しましたが、まだ組み立てていません。空気が乾燥していて、日蔭はまだ涼しいからです。日本の湿気は辛いです。もう一つは地元住民の有機食品志向が一段と高まり、スーパーの有機野菜売り場も、有機食品専門店もとても賑やかなことです。今は割高でも、市場拡大で価格は下がるし、農地にも優しいと地元の皆さん普及

に頑張っています。日本は長年の景気低迷で今でも安心より安価でしょうか。

言い忘れましたが留守中に車の保険が切れてしまい、手続きも遅れ、車はまだ車庫に入れたまま。移動はバスと歩行。先日65歳過ぎると半額になることを知りました。

8月中旬、2か所旅行しました。最初は妻と一緒にポーランド文化の中心、クラクフ。そしてミニバスで1時間のアウシュヴィッツ・ビルキナウ強制収容所跡。溢れんばかりの観光客グループに驚かされました。グループ毎にガイドさんが着いて口早に説明します。70年前ここに収容されたポーランド人やユダヤ人さながら後ろからせかされつつ施設から施設へと観て回りました。屋外は思った以上に暑く、炎天下で座り込む人も出るほどでした。帰りの車中、前の座席にいた米人女性たちがのべつ楽しそうにおしゃべりしていましたが、収容所を忘れたのか、忘れたいのか不思議でした。ナチ強制収容所が恐ろしいのはその徹底した効率性とそれを支えた組織全体の鉄壁なまでの規律にあると思いました。（フランクル著「夜と霧」参照。）一方、ホテルはユダヤ人居住区内。食事はおいしく、夜は窓から流れてくるボヘミアやユダヤの曲のバイオリンの音色が何とも言えず良かったです。

一日置いて、ギリシャのテサロニキ市（日本語聖書はテサロニケ）には世界YMCA同盟の難民部会に単身で参加しました。私以外はメキシコ、アメリカ、レバノン、2人の同盟職員は地元テサロニキのベテランとポーランドYの総主事の計6人。YMCAとして難民問題に今後どう取り組むかそれぞれの経験と知識で議論し、白熱する場面もありました。良いのは全員Yキチ。中一日、レンタカーで遠出し、最初はフィリップ2世の墓地跡（1976年に発見）案内してくれた考古学者は「これでマケドニアはギリシャ」と旧ユーゴ派を否定。竹島問題に似ている。そこから向かったYキャンプには3泊のキャンプを楽しむシリア難民の母子37人と父親が2人。初めての試みでしたが、何ヵ月も市内から出られなかった母子は久しぶりに自然を満喫していました。東京Yの福島被災児童対象のリフレッシュキャンプを思いました。職員に聞くと当初親たちは「キャンプ」を収容センターだと思ったそうですが、誤解が解けたうえ、リピーターしたいというまでになりました。チームリーダーは自分たちの誠意が難民家族に受け入れられたことが何よりもうれしいと言っていました。

さて、私は余すところ2週間でジュネーブを離

れますが、あと残る課題は(1)車の件を解決すること、(2)ワイズ国際本部への表敬、そして(3)来月10日のオール・ジュネーブでの「ルター宗教改革500年記念礼拝」に列席すること。

では9月例会まで、どうぞお元気で残暑を乗り切ってください。(8月26日)



テサロニキ市から車で2時間、Yのニムフェル・キャンプで子どもたち、職員と難民部会のメンバーと

おたより(8月)

<青鹿博明さん> いろいろの資料有難うございました。ワイズの大体の様子がわかりました。それぞれの活動がウラヤマシイです。こちらはニュース種にならないよう頑張ります。バザーでお会いするのを楽しみに。

<上妻英夫さん> 「米寿人(べいじゅびと)背丈夏草刈りたおす」2か月も見ぬ中、雑草はわが背丈を追い越す。そして夏風にゆられ我が世の春の様?それを思い切り鎌でなぎ倒す。しかし2時間余りでヘトヘト・・・

<飯島隆輔さん・愛子さん> 22日~24日、バンコクにいる息子たちと金沢に旅行します。美趣蘭は欠席で残念です。

<飯野毅与志さん> 新しい年度のワイズメンズクラブも良いクラブになったらいいと思っています。新しい人で私より5~6歳若い人が少し入会してくれたらいいと思います。

<増野肇さん> 8月もお休みになります。少しずつ良くなるようになってるように思いますが、この暑さに参っています。

1. 国際協力街頭募金

今年も新宿駅周辺にて街頭募金を実施します。貧困、自然災害、未発達な教育政策、社会・文化的習慣。これらの原因により、バングラディッシュでは多くの子どもたちが学校を断念せざるをえません。バングラディッシュの子どもたちの未来を守るために、力を貸してください。ご都合のよい時間帯にご家族や友人とぜひご参加ください。参加申込書は山手コミュニティーセンター受付にてご用意しています。

日時: 9月16日(土) 13時~17時

場所: JR 新宿駅周辺

2. 第31回 東京YMCA インターナショナル・チャリティーラン

障がいのある子どもたちのためのチャリティーランを以下の要綱で実施します。山手コミュニティーセンターもワイズメンズクラブのご支援のもと参加します。

日時: 9月23日(土・祝)

場所: 木場公園内特設コース

3. 山手コミュニティーセンターバザー

毎年恒例のバザーを行います。ご家族・お友達をお誘いの上、どうぞ皆さんでご来館ください。バザーの収益はボランティアリーダー養成、国際協力募金、震災復興支援、フレンドシップファンドなどのために用いさせていただきます。

日時: 10月15日(日)

場所: 山手コミュニティーセンター

バザーでは献品市を行います。家庭用品や贈答品(新品のもの)などございましたら、ぜひご提供ください。(星住)

<編集後記> 東京YMCA 8月午餐会は、わだつみのこえ記念館理事長の岡安茂祐氏の「いま、あらためて『わだつみのこえ』に聴く」と題したお話を伺いました。山手ワイズから尾内夫妻、増野、機能が出席しました。その後「わだつみのこえ記念館」を見学、そこで機関誌「わだつみのこえ」146号(2017年7月発行)の中に山手ワイズの大先輩故田辺正忠ワイズの一文「残念な兄・正平の死」を発見して驚きました。兄上で詩人の酒井正平の詩「戦地から」が掲載された後に続いて、その兄上の戦死を悼む文章でした。(F. K)